

H31年1月～3月

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署	分類
H31.1.11	外国籍住民 に対するご み出しル ールの周知 について	ごみの出し方については、日本人であっても不適切にごみを出したり、不法投棄する人たちがいるのが実態です。西尾市では、外国籍住民に対して、指導や働きかけなど周知、啓発は行っていますか。	<p>外国籍住民については、言葉や文化の違いから、ごみの出し方が分からないため、分別されないごみや、収集日が守られないごみがあり、町内会又は集合住宅のごみステーションに出されることがあります。市の対応としましては、ごみ出しルールが守られずに残されたごみについては、住所、氏名等が判明すれば、注意喚起の文書を通知しています。また、集合住宅のごみステーションの場合は、管理会社に連絡し、指導を行っています。</p> <p>なお、町内会等から要望があった場合は、ごみの出し方に関する外国語訳のチラシやラミネート加工した看板を作成し配布しています。その他、外国籍住民を対象とした生涯学習出前講座を行い、ごみ出しルールの説明をするなど周知を図っています。</p>	ごみ減量課	環境・衛生
H31.1.17	外国籍住民 に対する情 報提供の方 法について	広報にしろ1月16日号の「市民相談」欄に、外国人相談の掲載がありますが、日本語で表示されていました。母国語でないかわからないと思います。外国籍住民に対して、市政情報を発信する際に何か工夫していますか。	<p>外国籍住民に対しては、外国人相談をはじめ各種手続き、医療、子育て、教育等の暮らしに密接な情報を掲載した次のガイドブック等を発行しています。これらを転入時に配布するほか、町内会長を通じて送付したり、市ホームページにPDFデータを掲載するなど、快適な生活を送ることができるよう周知に努めています。</p> <p>①「外国人のための生活ガイドブック」(平成29年発行) 生活に必要な基本情報や生活する上でのルールを記載した、英語・ポルトガル語・中国語・ベトナム語・インドネシア語・タガログ語版の6か国語によるガイドブック</p> <p>②「西尾市に住む外国人のための生活情報」(月1回発行) 日本語があまり理解できない外国人にも分かるように配慮した、簡単な日本語である「やさしい日本語」を活用した生活情報誌</p> <p>③「ポルトガル語版情報紙」(月2回発行) 市内在住の外国人のうち、約4割を占めるブラジル人を対象にしたポルトガル語による情報紙</p> <p>なお、②、③については保育園・幼稚園、小・中学校、ふれあいセンター、公民館等の公共施設や、外国人の来店頻度が高い食料品店や商業施設にも配布しています。</p>	地域支援協働課	情報

H31年1月～3月

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署	分類
H31.1.30	図書館につ いて	<p>西尾市図書館のシステムが変更され、自宅のパソコンから本を予約する場合、予約方法がとても分かりにくくなりました。通販サイトなどのシステムは、消費者が購入しやすいよう最後まで上手く誘導してくれますが、今回の図書館システムの変更は、利便性が下がったと思います。</p> <p>また、読みたい本などを検索するパソコンの位置ですが、以前の配置と変わり、現在は並列に並んでいるため、個人情報を守られていません。以前の配置に戻して欲しいです。</p>	<p>昨年11月に、図書館システム及びホームページが新しくなったことにより、一文字のみの書名検索やAND検索もできるなど機能が向上しました。反面、検索画面や操作方法が変わり、戸惑ってしまうという声も利用者の皆さまからいただいています。操作方法につきましては、図書館利用方法説明会を実施いたしました。今後も必要に応じて実施してまいります。</p> <p>また、今回ご意見をいただきました「予約の方法」につきましては、図書検索結果の詳細画面にも、操作の説明書きを添えるなど改善してまいります。</p> <p>検索機の位置につきましては、2階の展示・新刊紹介の書棚とカウンターとの間の混雑を解消するため、配置を変えスペースを拡げました。また、検索機の画面には、他の人から見えないように「のぞき見防止フィルム」を貼りました。</p>	図書館	施設
H31.2.13	吉良地区に おける巡回 バスについ て	<p>私は、吉良町の住人で、初めて一色町公民館に来ました。吉良地区にも一色町のような巡回バスを運行してほしいと思います。自動車の運転免許証を返納された方が大勢困っています。</p>	<p>吉良地区の公共交通については、地域の実情をより反映できるよう地域の町内会長自ら見直し案を検討していただきました。その結果、巡回バスの運行ではなく、デマンドタクシー「いこまいかー」を便利にすることで、吉良地区内のお出かけの足を確保することとなったため、平成30年3月から「いこまいかー」の目的地拡大を実施しました。</p> <p>ご希望の時間に1乗車300円で、自宅から駅周辺の公共施設・スーパー・医療機関等へ直接行けるようになりましたので、日常生活でのお出かけにぜひご利用ください。</p>	地域支援協 働課	交通・防犯
H31.2.14	重すぎるラン ドセルによる 脊椎症の不 安について	<p>小学生の子供がいます。毎日、家では使わない教科書やワークを全て持ち帰り、行き帰り合計約1時間の道のりを重いランドセルを背負って歩きます。ランドセルの重さは約5kg、本人の体重は20kgで、体重の1/4の重さです。最近、首や肩が痛いと言っています。成長過程における大事な時期で、脊椎への負担がかかり過ぎることによる腰痛や頸椎症が今、問題視されています。</p> <p>小中学校では、教える量が増加し教科書は分厚くなり、副教材も多様化しています。文科省も全国の教育委員会などに対し、重量などに配慮するよう求める通知をだしており、宿題等で使わない教科書を学校に置いておくことを推奨している学校もあるようです。このことから、学校に提案しましたが何の対応も改善もありません。その日宿題等で使わない教科書やノートは、学校に置いておけるよう対応をお願いします。</p>	<p>西尾市では、児童生徒の発達段階や学習上の必要性、通学上の負担などの実態を考慮して、一部学用品の学校保管を認めるなど、各学校が柔軟に対応するなど必要に応じ適切な配慮が大切であると考えております。今後も引き続き、各小中学校へ指導していきます。</p>	学校教育課	教育

H31年1月～3月

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署	分類
H31.2.26	総合体育館 トレーニング 室の臨時休 業について	最近トレーニング室の臨時休業が多く、有料観戦の大会時に休業になるようです。観戦者とトレーニング室利用者の区別ができないためと聞きました。施設全体が休館のため、トレーニング室は誰も使っていません。トレーニング室利用者には高齢者も多く、話を聞くと、トレーニング室通いが日課になっている方もいます。大会観戦者とトレーニング室利用者の動線を考えれば、解決が見つかるように思われますが、いかがでしょうか。高齢者の楽しみなどに配慮しつつ、施設を有効利用するためにも、是非検討していただきたいと思えます。	2月は、バレーボールや卓球の大きな大会のために全館貸し切りがございました。「観戦者とトレーニング室利用者の動線を考えれば解決できるのでは」というご意見につきましては、大会関係者は、選手と観戦者が施設を共有することの無いように考えていることから、トイレや更衣室などは選手専用としておりますので、ご理解ください。 3月及び4月にも、大きな行事が予定されていますので、全館貸し切りとなるような大会につきましては、日程がわかり次第、施設利用者の皆さまへは、早めに情報を提供します。	スポーツ課	文化・スポーツ
H31.3.4	情報ライブカ メラの設置に ついて	キャッチネットワークの情報チャンネルをよく視聴していますが、矢崎川河口付近にライブカメラを設置してはどうでしょうか。津波や高潮など自然災害が発生した場合の状況を知ることにも役立ち、防災活動に大いに反映させることができると考えます。	ライブカメラの設置については、河川管理者であります愛知県に確認しましたところ、新規の設置予定は無いとのことです。 矢崎川には、吉良町寺嶋地内に監視カメラが設置されておりますが、市といたしましても、河口部への水位計・監視カメラの設置を愛知県に要望しております。引き続き、愛知県に対し要望をおこなってまいりますので、ご理解ください。	河川港湾課	防災・災害
H31.3.11	災害時の段 ボールベッド の導入につ いて	大地震が発生した場合、多くの方が避難所暮らしを強いられると思えます。喘息やエコノミー症候群の予防のためにも、簡易段ボールベッドの導入を検討していただきたいと思えます。西尾市も高齢化が進んでいます。二次被害を防ぐためにも、ぜひ考えてください。	避難所生活により窮屈な姿勢を続けたり、水分補給をしなかったりすることで、エコノミークラス症候群を発症するケースがあります。現在、南海トラフ地震の発生により、約7万人の方が避難所生活を強いられる想定となっておりますが、各避難所では、体育館だけでなく、教室等も活用して、一人あたり2㎡を確保し、生活していただくこととしています。そのため、避難所においては、エコノミークラス症候群の心配は少ないと思えますが、車中泊される方については、その心配も考えられると思えます。 市では、現在、啓発用で段ボールベッドを5台保有していますが、多くの保管スペースが必要となるため、平成29年6月に段ボール製造事業者と物資の供給に関する協定を締結し、間仕切りや段ボールベッドが必要な場合は、事業者に物資の支援をお願いし、各避難所に配布したいと考えています。	危機管理課	防災・災害

H31年1月～3月

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署	分類
H31.3.22	ふれあいの道（小島町）のトイレについて	<p>小島町にある「ふれあいの道」に行ってきました。ふれあいの道には、トイレが1箇所ありますが、全く掃除されていません。トイレトペーパーも無く、室内にはゴミが沢山ありました。トイレを使用した方が、トイレトペーパーが無いため、ポケットティッシュを使わざるを得なかったと思います。車椅子の方も使えるトイレのはずですが、手すりも汚く、大変不衛生でした。弁当を持ち、小さなお子さんを連れてくる方もいました。私は、祖父母を連れて行ったのですが、近くにコンビニもなく、トイレも使えず大変困りました。毎週、トイレの掃除や見回りをする事は出来ますか。</p>	<p>ふれあいの道を訪れていただいたにも関わらず、ご迷惑とご不快な思いをおかけし、誠に申し訳ありませんでした。</p> <p>現場を確認したところ、トイレについて、トイレトペーパーの無い事、ゴミの散乱や手摺の汚れを確認しました。ふれあいの道に設置されたトイレの日常管理は、「ふれあいの道を育てる会」へ委託しておりますので、早急に対応をお願いしました。</p> <p>今後は、土木課で定期的な見回りを行うとともに、管理者と情報共有を図り適正な管理に努めて参ります。</p>	土木課	住まい・まちづくり